京都外国語大学では、外国人留学生と在学生が協働 して日本文化への理解を高める取り組みも。写真は

着付けによる京都文化体験の様子

Pれ、人工知能やIoT 今や『知の時代』と言

れだけに会員は、協力し影響力が大きい一方、そ

ることに敬意と感謝を申

門分野も様々で、従って に加盟校が多く規模や専

団結をする努力が必要で

学習時代に入っていま

教育のグランドデザイン政への要望や提言(高等

り我が国の私学の高等教

ての対策等をお願い

村崎 私からは、公て参画して頂きたい。

うございました。

ありがと

続き行われる検討につい 影響が大きいので、

大学入学者選抜に及ぼす

も改革をしていければと

いては、大学教育、

協会本部と一

助成、

えます。

れている証左であるとい

ながら自らが課題を見つ を付けて、社会と関わり いかに知恵に変え想像力

私大協会はタイムリ

が大きく、今後とも三〇

本協会に依るところ

(知) の処え との連携を活かし、地

は情報の入手が困難であ

しいと期待しています。 様性の尊重に尽力してほ から、私学の自主性、

中山 特に地方の大学

めなければなりません。存続のための結束力を高

国公立と私立の役割

生が今、おっしゃったこた。事務局としても、先

とを念頭に業務を変えて

いかなければなりませ

の明確化を

年後を生き抜く様々な情

得ることによって、成りの期待にこたえ、信頼を(知)の拠点として地域

学基本問題研究委員会に

本協会の私立大

おいて、各課題の検証や

な情報発信を

本協会は、全国

くよう期待しています。

立っています。私立大学

意見反映に期待し

加盟大学のためになるこ

日頃から、

とを考え続けようと言っ

によって地域が活性化し

「高大接続シス による教育改

テム改革」

三〇年に向けて、本協会提案を受けながら、次のていますが、先生方のご

地方創生が推進

本協会が地方

が必要だと思います。

報をタイ

くして、

国の繁栄なし

研修が必要となるのでは の課題に焦点を合わせた

くの大学の教育管理運営

に関連する社会、技術の

と思います。そういう時一化が一層進展していく

地域立地の私大振興な

に対応する固有

つのは困難です。

によるグロー

本協会には、

さらに多

それぞれのカ

の機能をすべて独自に持

域で大中小、

様々な規模

海道から沖縄に至る各地

競争的資金への応募

変化に関する情報の取得

タの蓄積と、それ

代ごとの、

国や地域ごと

男・女の、

障害者•

代になればなるほど、世

でしょうか。例え

私立大学は、

とかしていかなければ、

の三重苦の差額をなん

いかなければなりませ

私は、

、この経費負担

袈裟かもしれません

応えていくためには、大社会の要請に私立大学が

高く評価されるもので の支援に関する活動は、 盟校の状況・意見の発信 り巻く環境は少子化やグまた、近年の大学を取

教育関連情報の提供と加での本協会による政府の古田 確かに、これま

が持つ正確な情報の発信るよう、私からも、協会

ル化など高度な課

差額をなんとしても縮め のは一人ひとりの多額の 公立大学も地方税で負担 全体の税金でまかない、 己負担なのです。この 国立大学は国民

成に努力をしていますがます。各大学では人材育 個別の対応では限界があ ますます必要となってい 行政管理のできる人材が では教職員の研修などの 特に地方や小規模校 かし、これまで述べ

を提供していくことは極 会が人材育成や交流の場 機会が少なくなりがちで めて重要であり有効だと 今まで以上に、 化に適応していかなけれ が要請されています。変大学自体が変化すること ばなりません。 と言いますが、大学も変 化に適応する能力を持つ 激な変化に対応する人材 の大学は社会や技術の急 あるという意見もあり、 を教育しなけ てきたとおり、 教育の変化は緩慢で 社会の変化に比べ ノリジェント ればなりま これから 変

適応し教育研究する機能 に、教員の訓練も必要で用が必要であると同時 ではないでしょうか 訓練を図り、 上に努める必要があるの 動をとおして直接的教員 には施設設備に莫大な費 教員の訓練も必要で 本協会としてもこの 教育力の向 経常費補助金の拡充、税 制改正等)は、直ちに答

ので

多様性に目を向け、積極な差異が生み出す文化の

の文化、あるいは地理的

の社会は情報通信の発達 自動翻訳の発達など 活動についてですが、 場に立つ大切な媒体で するものもあります。 よっては直ちに対応を要 育学術新聞は私学人の立 もちろん、案件に から啓発(広報) 的な交流を図る場を提 ています。 していくことが求められ

役割は大きいと思いまのです。今後の本協会の

経理等)は、共通課題も

生生活指導、

共 事務局長、 学

等に基づき変化に適切に

大切ですが

相当部分を

を持たねばなりません

多くの大学がこれら

規模、分野、地域が異な

ですから、

私学の振興な

〇%の私学出身者なの

おいて、

変化の認識、それらのデ

-タの蓄積、活用、それ

る各種研修会(教務、学おいて、本協会が開催す

ら思っています。国を

考えております。

しているのは七〇、

日本の未来はないと

載できないかとも考えら ならば当新聞の紙面を使 広告等の掲載案も出 同様レイアウトで掲 般紙への意見(全 この新聞は掲載 資産化も考えざるを得ま があるのです 化交流は進めていく必要 ります。こちらとも異文 あるように、産業界には は、現実的にはこの知 社会に還元する」ために 企業文化というものがあ 「知を創造」 大学に学内文化が 超少子高齢化、

先にも述べたように一億 等の質疑応答で何度かお ではないでしょうか。 た新しい連携などに対す 大学のみならず学生個-レベルにおいても必要 ししたことがあるので 本協会の研修会 、そういっ

組みが必要と考えていま 立大学を支援していく仕 る全く新たな枠組みで私 地域や規模、 様々な条件によっ 学部の えて、

情報収集能力の向上と分 年を迎えるまでに今後行 ③時代の変化に合った教 行政提案をすること、 を見極めた新し 本協会が一〇〇周 向上を図ること、 かなければならな 中央都市、 · 中都市、地方 ①社会情勢 2

官界との連携を密に図る 努めること、 努めること、⑤経済界、常に教職員の意識改革に 与え続けること、④実質 育研究の質向上に示唆を SD研修を行

教

画一的支援のみでは

地方・地域を見据

短縮(隔年でも)を考慮

重要な役割を果たさされ

学の精神に基づき、多様 は異なり、それぞれの建

主要記事の電子版も検討

ーのみならず、

してはいかがでしょう

の連携のもと、学び

で柔軟な教育ができる私

ることを期待します。

私学の定員未充足校の割

はい。今年度の

課題になるかもし 考え方そのものも、

て四四・五%となりまし

定時等、

総論に終わらず

かに醸成するかの教育が身に付け創造する力をい

揮できるような基準づく

りを文部科学省に働きか

会は教育研究、経営両面

地方にとっての私立大

るべき個別テーマはあり

かがでしょうか。

黒田先生にすべ

います。ほかに付け

ありがとうござ

起することにまとめるこ 年先を見据えた問題を提 こと、⑥常に五年先一〇

とができそうですね。

ますでしょうか。

いに役立つでしょう。

強化をはかることが必要 上に本部と支部の連携の

いずれにしても、

本協

個々の具体的な内容で開

催してほしいと思いま

重要になってきて

クティブ・ラーニングを

育情勢の情報提供を迅速

内外の教

多

さを理解して頂き、私学学が存在する意義の大き

した教育が盛んに行

各学校でPBLやア

昨年度より上昇

各種協議会につ 重要な法令の改

なってきていますね。

専門とする分野はもと

を尊重し、地域、規模に立大学のそれぞれの個性

の蓄積は、会員校の経営

上の参考として、将来大

把握できる様々なデー ごとの、協会だからこそ

村崎同時に、

協会内

今まで以

も議論をしていくべきだ ような働きかけについて

と思っています。

他分野の知識をも

関わらず、国からの財政

が読みにくい社会状況に

本協会は、

そうした私

万創生が最も必要とされ

きています

がますます重要になって

学の経済規模の在り方、

研修

言われる時代に入り、先黒田 知識基盤社会と

立大学が活躍できるので

を早急に構築する必要が の場を提供するシステム

能となるような方法で、

きめ細かな対応が可 現在の私学助成より

新しい私学助成法となる

えた振興策を講ずること

する私立大学の振興なく

国の繁栄はありえ

視点を加味してはいかが

更に小規模大

するための支援でさらに会、技術の発展への貢献

研修日数の

八口減少が続く

これからも地方に立地

各種ハンドブック制作

このような

のため加盟校への提供に

そういう時代になるか

の風」等、

私学の主張は **ルカディフ**

しょうが「ア

本協会が大学の社

らとそ、

ざるを得ない国立大学とらこそ、国の方針に従わ

と思います。また、バッ欠かさず掲載して欲しい

価値を生むこととなりま 再教育がこれから重要な

て各大学の状況は異なり

おっしゃるとおり、

そして、

金 (金

先ほど述べましたとお

の発展と活性化にも貢献

覚し地域の文化

の区分が必要だと思いま可能性や条件が全く異な

されます。四〇七の加盟行える体制の整備が期待

校からの、教育管理ビッ

の構築がますます必要と

りには毎号工夫が必要で

総活躍社会や高齢者の活

躍できる社会の構築に

社会人の学び直し、

記事が必然的に地味なの

楽しく面白い紙面造

様性を認めて生きる社会 健常者の、それぞれの多

タの蓄積と、

らの活用 とデ

しています。

通じた多様性の保持は、 ては欠くべからざるもの 向けこの異文化交流を さらには社会の発展 加盟大学の存続と発 摂理でもありま 済まされる時代ではなく す。一生の仕事が一つでっていると言われていま なっているとも言えま っておりました。人生五 このような時代を見据 企業の寿命五〇年

多摩大学玉川大学

多摩美術大学

帝京大学

昭和大学

昭和薬科大学

女子美術大学

うことは種の存続にお することや異種交配を行

五年と言われる時代に入生八〇年、企業の寿命一 がら皆さんのご意見を伺 いちいち頷きな

来たように、多様性を有

解を求めていくように努もに、社会に対しても理 して声を上げていくとと

識しつつ、国の施策に対は、加盟大学の実情を認 大沼 本協会として

界との交流を推進する役 学間交流、さらには産業 てしてはならないと思っ

とで、そこコートを追め

造が生まれる可能性があ

異なる学問領域

たいと思います。 割を担っていってもらい 極的に異文化交流を進め

しております。

そして積

進することが必要だと感

確化して、それを大学同

が認識し合うことを推

N文化をまず自大学が明

会は、そうやって各大学 限り異なる文化をもつ大 を明確化して社会に示す に各々が育んできた文化 赫 そうですね、本協 かつ可能な ようなことだけは、決し校を将来なくしてしまう さととなり得る大学、 も議論して頂きたく思い 卒業生の心のふる

の役割の明確化について と大きく増加して

崇城大学主催のビジネスプランコンテストは、未来 の起業家である学生を対象に行われ、学生ベンチャ ーによる地方創生を目指す

とその背景あるいは結果

各々の大学のもつ使命

として成り立ってきた学

たく思います。

設置が必要となると思い のシステムを考えて頂き わせた学部学科の新設、 いような学部学科の設置 同じ地域で、 二十八年五月現在九一 あった公立大学が、 す。平成初期は三九校で 、国立大学と公立大学大きく増加していま十八年五月現在九一校

ても各地域のニーズに合まれ変わらせる手段とし 今後ますます大学を生 言をお願いしたく思いま政府、文部科学省への提

ASSOCIATION OF

PRIVATE UNIVERSITIES

OF JAPAN SINCE 1946

日本私立大学協会は 平成28年12月に創立70周年を迎えます。

ANNIVERSARY since 1946 日本私立大学協会 ASSOCIATION OF PRIVATE UNIVERSITIES OF JAPAN

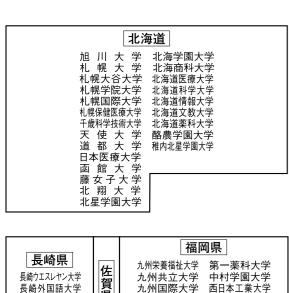
八戸学院大学

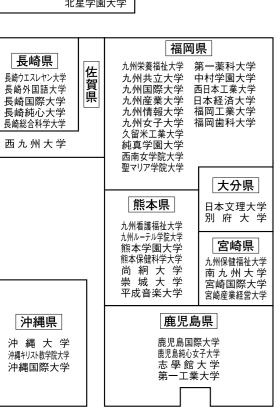
岩手県

富士大学盛岡大学

宮城県

八戸工業大学 弘前学院大学









関西福祉科学大学

滋愿医療科学大学院大学

羽衣国際大学

東大阪大学

プール学院大学



東京工科大学

東京工芸大学



青森大学

青森中央学院大学

東北女子大学

秋田県

秋田看護福祉大学

ノースアジア大学

|山形県|

東北芸術工科大学

青森県

平成28年10月現在

计声野音率大学

明治薬科大学明 星 大 学

日木社会事業大学

日本獣医生命科学大学

日本女子体育大学

日本未十字看護大学

東京富士大学

東京未来大学

